

全国保健師長会合同セッション

## ”大規模災害時における保健活動の課題と対応”

国内外で自然災害が頻発化、甚大化しており、被災後の保健医療体制の再構築をはじめ、保健活動の第一線で多様な活躍を期待される行政保健師の役割はますます大きくなっています。

過去の災害時の保健活動の実態や課題への対応、今後求められる保健医療活動体制構築のための連携のあり方、求められる力量を獲得するための教育など、今後の公衆衛生活動をより強化するための取り組みについて会場の方々との意見交換を行うため、全国保健師長会との合同によるセッションを企画致しました。

より多くの方にご参加いただけるよう、このシンポジウムは市民公開講座となっております。みなさまのご参加、お待ち申し上げます。

座長 宮崎 美砂子氏（千葉大学大学院看護学研究科 教授）  
勝又 浜子氏（国立保健医療科学院 統括研究官）

◇東日本大震災から学ぶ保健師活動のあり方

大内 佳子氏（宮城県東松山市 健康推進課 技術主任）

◇大規模災害時における保健活動マニュアルの策定と活用に向けた取り組みの状況

松本 珠実氏（大阪市保健所 保健副主幹）

◇大規模災害時に求められる管理者の機能

奥田 博子氏（国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 上席主任研究官）

◇大規模災害時における公衆衛生活動（保健所職員の被災地派遣の考え方）

坪川 トモ子氏（新潟青稜大学 看護福祉心理学部看護学科 准教授）

日時：平成27年2月28日（土） 14：30～16：00

場所：ザ・クレストホテル立川 東京都立川市錦町1-12-1

《参加費用》 無料（市民公開講座のためシンポジウム参加費は不要です）

《申し込み》 参加資格不問、事前申し込み不要

\*皆さまお誘い合わせの上、ふるってご参加ください！

主催：日本集団災害医学会

後援：全国保健師長会

全国保健師長会合同セッション 問い合わせ先

国立保健医療科学院 奥田 博子

TEL 048-458-6233 FAX 048-468-7983

E-mail [ohiroko@niph.go.jp](mailto:ohiroko@niph.go.jp)

